

# もいのにぎわい通信

## 2021年3月27日 定例活動報告

.....

日時：2021年3月27日（土）9：00～12：00

場所：小山町 観音地

天候：晴時々曇 気温 10～18℃ 湿度 47% 風向 南東 風速 3.2m

参加者：37人：子ども5人、大人32人（内土地改良区3人）

### ■活動

.....

9:00 集合

9:30 作業開始

10:30 休憩

12:00 後片づけ・解散

### ■活動報告

桜も満開になり、今日はお天気に恵まれた穏やかな活動日和となりました。そして、以前よりボランティア参加の意向をされていた(株)パソナグループ社員さんとそのご家族、総勢22名を受け入れる特別な日です。

前日に入口と危険個所に看板を取り付け、いつもより入念なトイレ掃除、お茶の用意など準備をしました。案内板を立てたのは、初めて来られた方が道に迷い、ようやく現地入りするケースがあったからです。

ところが、段ボールに書いた案内板が目立たずに入口を通過されてしまった方もおられたようでした。でも、9時過ぎには自家用車やタクシーで次々に現地入り、小山町の集落に迷い込まれて土気NGOの方に案内され下から登って来られた方も無事到着されました。

受付を済ませグループに分かれて金井さん、星野正人さん、金子さんの案内で散策路沿いを歩いてもらいました。13年前の3月の植樹祭の写真をお見せしたときは、大変驚いていらっしゃいました。山砂採取跡地（産廃計画地）からの植林は、砂漠のようなところに13年かけて苗木を植えてきたようなものでした。

さっそく、土地改良区の皆さんは、チェーンソーで枯れたマツの伐採、会員メンバーは、刈払機による除草作業、ボランティア参加者は剪定バサミでクズの蔓切とノコギリで枝打ちをするグループに分かれて、それぞれ作業を分担しました。休憩までの約1時間でしたが、メダカ池の南側のコナラ、クヌギの林がきれいな並木になり今後の作業がスムーズになると思います。

また、和田さんが案内した親子参加グループは、森の生き物を観察しながらクズの蔓切が出来ました。

メダカ池で生まれたオタマジャクシに興味が集まっていました。春は生き物がにぎわう季節でもあるのを実感しました。

休憩を挟んで先月に引き続き土地改良区で伐採をした20本の枯れたマツの片づけを行いました。

枯れたマツをリヤカーや一輪車に載せたり、手で引っ張って運んだり大勢で何往復かするうちにどんどん片付いて行きました。参加された小学生、中学生が一輪車を押して運んでいる姿にとっても頼も

しく大変嬉しくなりました。とりわけ最年少（2才4か月）の奏君もパパと一輪車を押して運んでいる姿は、大変ほほえましく思いました。これこそ生きた環境教育の実践なのでは、と・・・。

こうして、11時半ちょうどに作業は無事終了。

金井理事長から、「植林は、一度すればいいが後の草刈作業が大変で、夏はジャングルになる。」と言うと皆さん驚かれています。これは本当です。また、来られた方より、「環境活動に興味をもっといきたい。」「また、来たい。」など・・・。とのお話がありました。

(株)パソナグループの皆様のお蔭で、伐採木をこんなにも早く片付けることができました。私達も感謝でいっぱいです。また、本日ご参加下さった皆様に改めて感謝申し上げます。

どうぞ、また、いらっしやって下さいね。

(記録： 星野 静枝)

.....

お知らせホームページもご覧下さい→ <https://g-cycle.sakura.ne.jp/>

次回の定例会は、4月24日（土）（雨天の場合4月25日（日））除草作業、苗木の枝の剪定、間伐材の片づけを行う予定です。尚、コロナ禍の為、活動時間は午前9時～12時までとします。



集合写真



土地改良区による除草作業と枯れたマツの間伐



パソナグループ社員の参加により久しぶりの大人数の参加者



散策路沿いの現地案内



枝の剪定作業



クズの蔓切作業



2つのグループに分かれて休憩



奏君も楽しそう





伐採したマツの枝の運搬



作業ご苦労様でした。